

資料

2021年度性器クラミジア感染症及び淋菌感染症の抗原検査結果概要

上田紗織・重村洋明・大石明・片宗千春・カール由起・江藤良樹・濱崎光宏

2021年度に当所に検査依頼された性器クラミジア感染症及び淋菌感染症に係る抗原検査の検体数は、197 件（男性 119件、女性 77件、性別不明1件）であり、この検査数は前年度と同程度であった。これは、新型コロナウイルス感染症の流行が継続したことによる窓口業務の縮小や、検査受診の自粛等の影響と考えられる。検査結果としては、性器クラミジア抗原陽性検体は197件中 18件（男性 9 件、女性 9 件）で、陽性率は 9.1% であった。一方、淋菌抗原陽性検体は 196件中4 件（男性 0 件、女性 4 件）で、陽性率は 2.0% であった。

[キーワード：性器クラミジア感染症、淋菌感染症、抗原検査]

1 はじめに

性器クラミジア感染症及び淋菌感染症は、性感染症の中でも患者数が多い疾患である。国が実施する感染症発生動向調査によると、2020年は性器クラミジア感染症 28,381件、淋菌感染症 8,474 件が報告されている。いずれの感染症も平成14年をピークに減少し、平成21年以降はほぼ横ばいとなっていたが、クラミジア感染症は平成28年の24,397件、淋菌感染症は平成29年の8,107件を境に、増加傾向である¹⁾。患者数が多い原因のひとつとして無症候性の感染者の存在が指摘されており、本人が感染していることに気づかないまま性交渉を行い相手に感染させ、新たな感染者も感染に気がつかずに、さらに感染を拡大させるという“無症候性感染の連鎖”によって、若者の間で感染が拡大することが懸念されている²⁾。

福岡県では性感染症予防対策の一環として、2004年3月から性器クラミジア感染症について抗体検査を開始した。2013年4月からは、尿を検体とする抗原検査に変更し、性器クラミジア感染症に加えて、淋菌感染症についても実施している。本稿では、2021年度に実施した検査の概要について報告する。

2 方法

2・1 検体

検査には、2021年4月から 2022年3月に県内 9 保健福祉（環境）事務所で採取した検査希望者の初尿 2 mL を用いた（性器クラミジア抗原検査 197 件；男性 119件、女性 77件、性別不明1件、淋菌抗原検査 196 件；男性 118 件、女性 77 件、性別不明1件）。

2・2 検査項目

初尿中の性器クラミジア抗原及び淋菌抗原について検査を実施した。

2・3 試薬及び機器

性器クラミジア抗原検査及び淋菌抗原検査の試薬は、アプティマ Combo2 クラミジア/ゴノレア（ホロジックジャパン株式会社）、機器はパンサーシステム（ホロジックジャパン株式会社）を用いた。

2・4 検査方法

尿検体 2 mL をアプティマ STD うがい液・尿採取セットの搬送用チューブに入れ、パンサーシステムを用いて測定した。

3 結果・考察

本事業における性器クラミジア抗原検査件数及び淋菌抗原検査件数を図1、図2 に示す。2018年、2019年には性器クラミジア抗原検査及び淋菌抗原検査ともに 1,000 件を越えたが、2020年度の抗原検査件数は199 件であり、前年度の5分の1程度まで減少した。2021年度の検査数は197件と、2020年度と同程度の検査数であった。これは、新型コロナウイルス感染症の流行が継続したことによる保健所の窓口業務の縮小や検査受診の自粛等の影響と考えられる。2021年度の性器クラミジア抗原検査及び淋菌抗原検査結果を表1 に示した。性器クラミジア及び淋菌抗原検査の搬入検体数は 20歳代が 91 件（男性 50 件、女性 41 件）と最も多く、次いで 30歳代が 47 件（男性 29 件（淋菌感染症は 28 件）、女性 17 件、性別不明1件）であった。性器クラミジア抗原陽性は 197件中18件（男性 9 件、

女性 9 件) で、陽性率は、男性 7.6 %、女性 11.7 %であった。淋菌抗原陽性は 196件中4 件(男性 0 件、女性 4 件) で、陽性率は、男性 0.0%、女性 5.2 %であった。また、196件中1件は判定保留であった。

文献

- 1) 厚生労働省：感染症発生動向調査 性感染症報告数,
<https://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html>
(2022年6月8日アクセス)
- 2) 余田 敬子ら：口咽科 2011 ; 24 : 2 ; 171-177

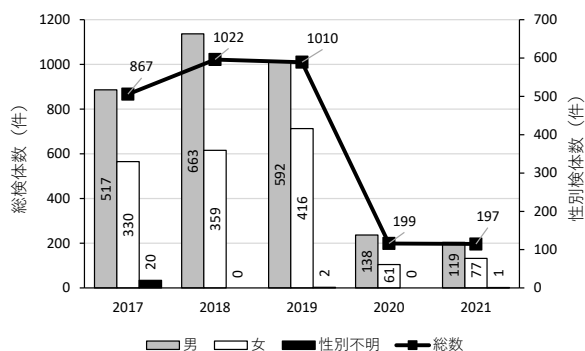


図1 性別性器クラミジア抗原検査数

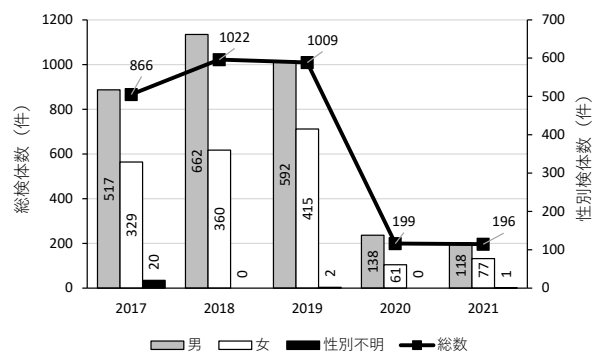


図2 性別淋菌抗原検査数

表 1 年齢区分別検体搬入数及び抗原陽性数(陽性率)

性別	年齢区分	クラミジア		淋菌	
		検体数	陽性数(陽性率)	検体数	陽性数(陽性率)
男性	～19歳	4	1 (25.0%)	4	0 (0.0%)
	20～29歳	50	4 (8.0%)	50*	0 (0.0%)
	30～39歳	29	2 (6.9%)	28	0 (0.0%)
	40～49歳	23	2 (8.7%)	23	0 (0.0%)
	50～59歳	7	0 (0.0%)	7	0 (0.0%)
	60歳～	6	0 (0.0%)	6	0 (0.0%)
	小計	119	9 (7.6%)	118	0 (0.0%)
女性	～19歳	5	2 (40.0%)	5	0 (0.0%)
	20～29歳	41	6 (14.6%)	41	3 (7.3%)
	30～39歳	17	1 (5.9%)	17	1 (5.9%)
	40～49歳	13	0 (0.0%)	13	0 (0.0%)
	50～59歳	0	— (—)	0	— (—)
	60歳～	1	0 (0.0%)	1	0 (0.0%)
	小計	77	9 (11.7%)	77	4 (5.2%)
性別不明	30～39歳	1	0 (0.0%)	1	0 (0.0%)
	小計	1	0 (0.0%)	1	0 (0.0%)
計		197	18 (9.1%)	196*	4 (2.0%)

*判定保留となった1件を含む。